

第 2 次橋本市長期総合計画
後期基本計画策定に係る
アンケート調査 結果報告書

【概要版】

令和 4 年 3 月

橋 本 市

1. 調査の実施概要

(1) 調査実施の趣旨

本調査は、令和 5（2024）年度以降のまちづくりの長期的な指針となる「第 2 次橋本市総合計画 後期基本計画」の策定に向け、市民の日常生活における現状や今後の意向、行政の取組に対する評価、児童・生徒の将来の希望等を把握し、今後の方向性や具体的施策を検討する際の資料として活用することを目的に実施しました。

(2) 実施概要

	市民対象調査	小中学生対象調査
調査対象	市内在住の 18 歳以上男女 2,000 名	市内小中学校の児童・生徒 (小学 5 年生・中学 2 年生の全員)
調査時期	令和 3 年 9 月 13 日～10 月 1 日	
調査方法	市民対象調査：郵送による配布・回収（一部 Web 上での回答） 小中学生対象調査：Web 上での回答	
有効回収数	906 件（郵送：694 件、Web：212 件）	792 件
有効回収率	45.3%	90.5%

(3) 報告書の見方

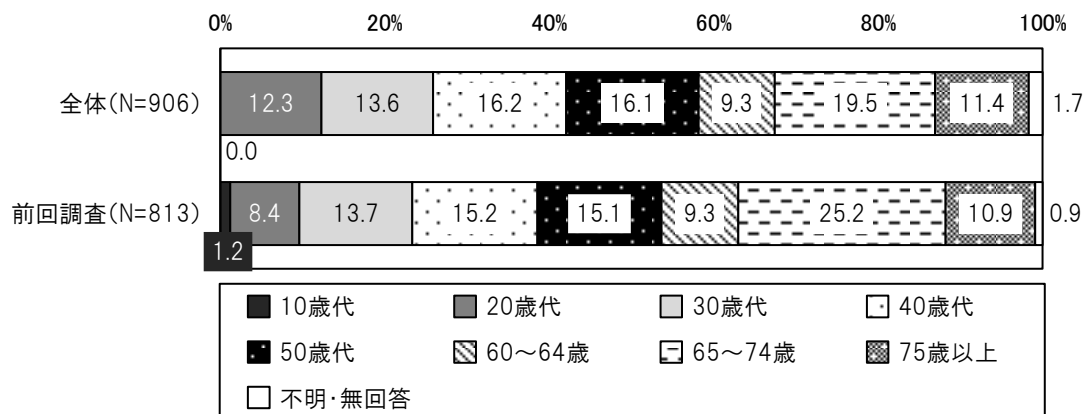
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 「N（number of case）」が 10 未満の図表については、分析文を省略している場合があります。

2. 市民対象調査結果（一部抜粋）

Q2 あなたの年齢を教えてください。（ひとつだけ○）

回答者の年齢については、「65～74 歳」が 19.5％と最も高く、「40 歳代」が 16.2％、「50 歳代」が 16.1％となっています。

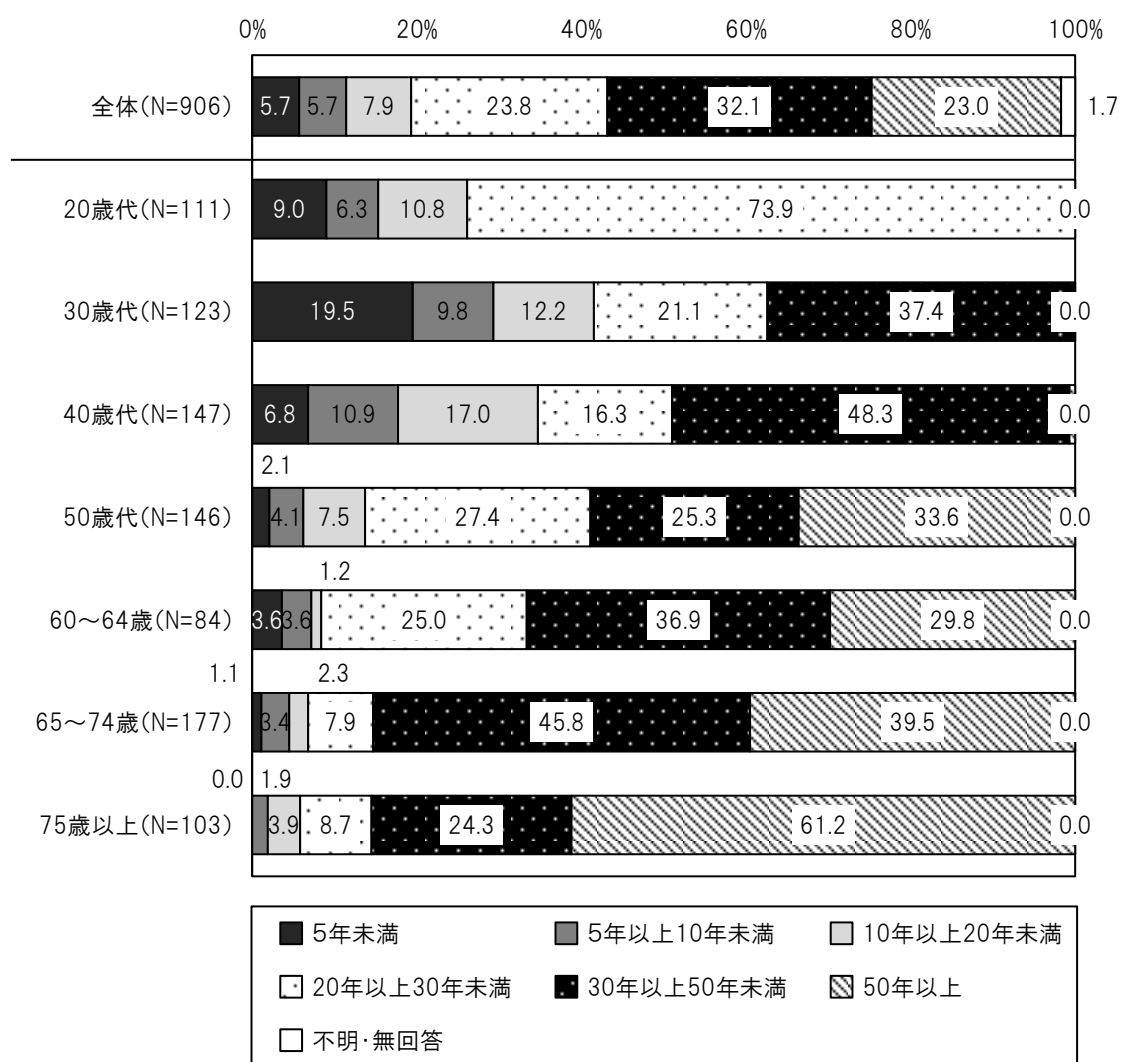
前回調査と比較すると、「65～74 歳」が 5.7 ポイント減少しています。



Q6 あなたが橋本市にお住まいになって通算で何年になりますか。(ひとつだけ○)

回答者の居住年数については、「30 年以上 50 年未満」が 32.1%と最も高く、「20 年以上 30 年未満」が 23.8%、「50 年以上」が 23.0%となっています。

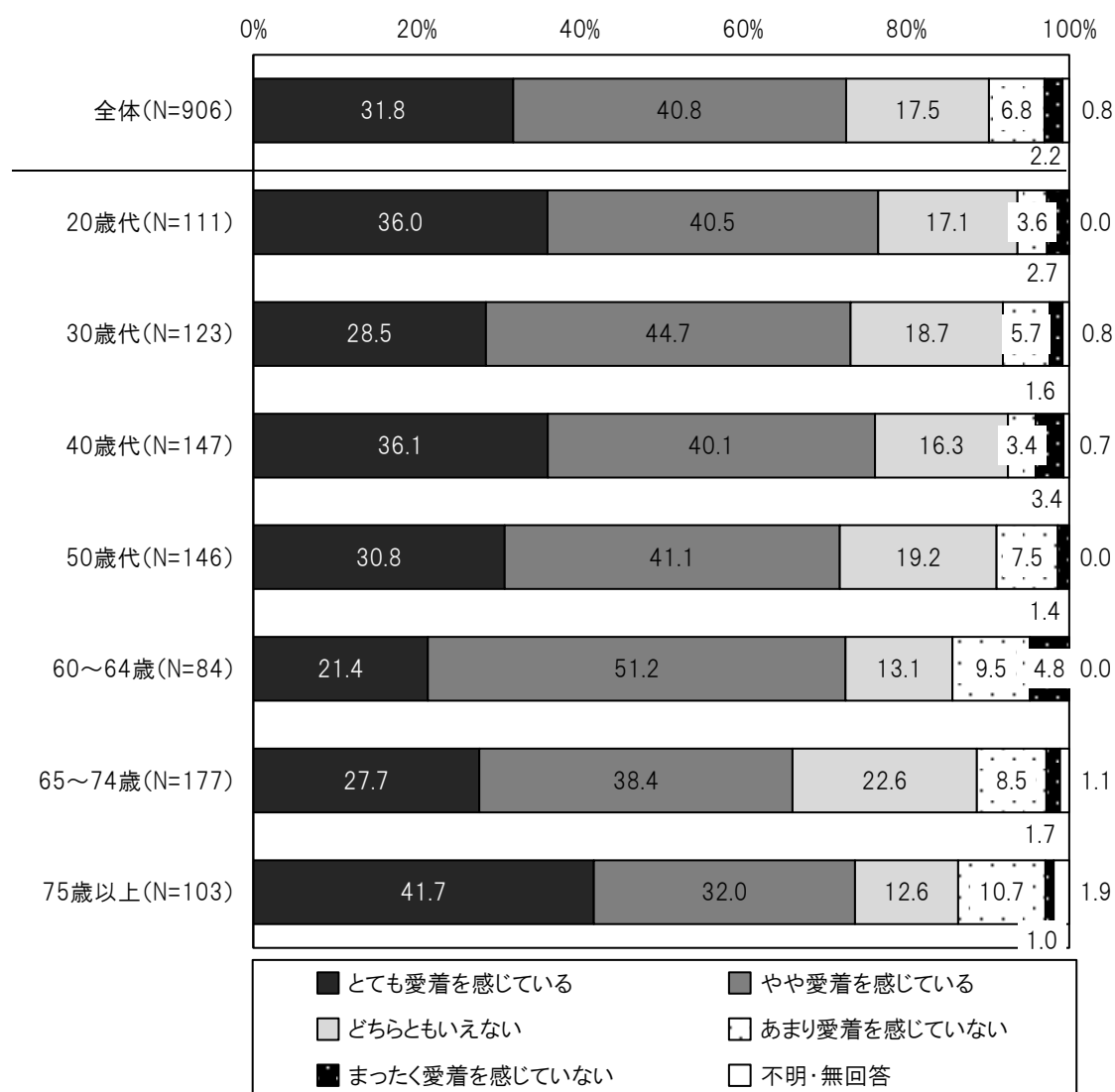
年齢別にみると、20 歳代では「20 年以上 30 年未満」が最も高くなっています。また、30 歳代及び 40 歳代、60～64 歳及び 65～74 歳では「30 年以上 50 年未満」、50 歳代及び 75 歳以上では「50 年以上」が最も高くなっています。



Q7 あなたは、橋本市やお住まいの地域に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。 (ひとつだけ○)

橋本市やお住まいの地域に愛着を感じているかについては、『愛着を感じている（「とても愛着を感じている」と「やや愛着を感じている」の合算）』が 72.6%と、『愛着を感じていない（「あまり愛着を感じていない」と「まったく愛着を感じていない」の合算）』の 9.0%を上回っています。

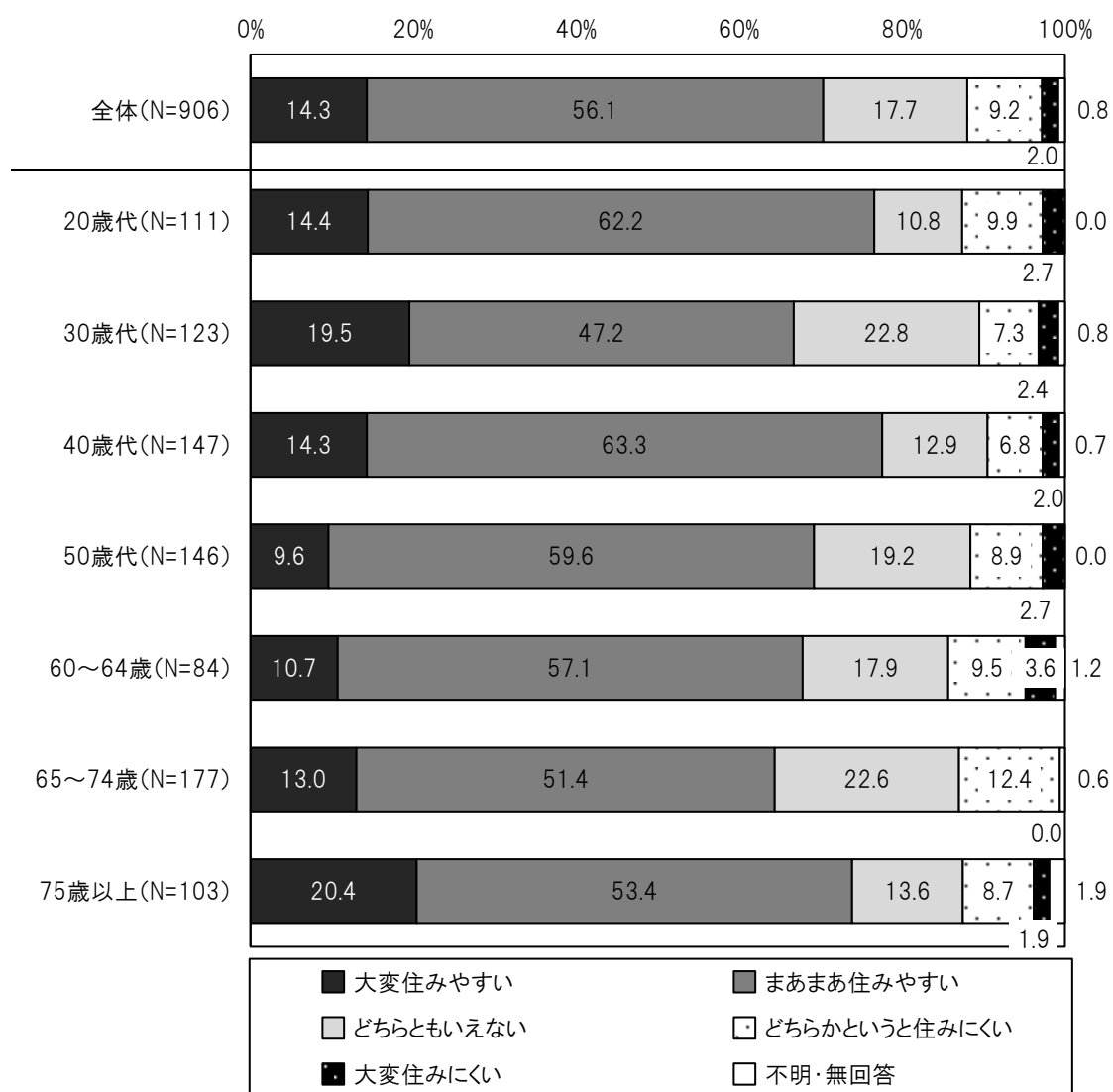
年齢別にみると、65～74 歳では『愛着を感じている』がその他の年齢と比べて低くなっています。



Q8 あなたにとって、橋本市やお住まいの地域の住み心地はいかがですか。（ひとつだけ○）

橋本市やお住まいの地域の住み心地については、『住みやすい（「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合算）』が 70.4%と、『住みにくい（「どちらかという住みにくい」と「大変住みにくい」の合算）』の 11.2%を上回っています。

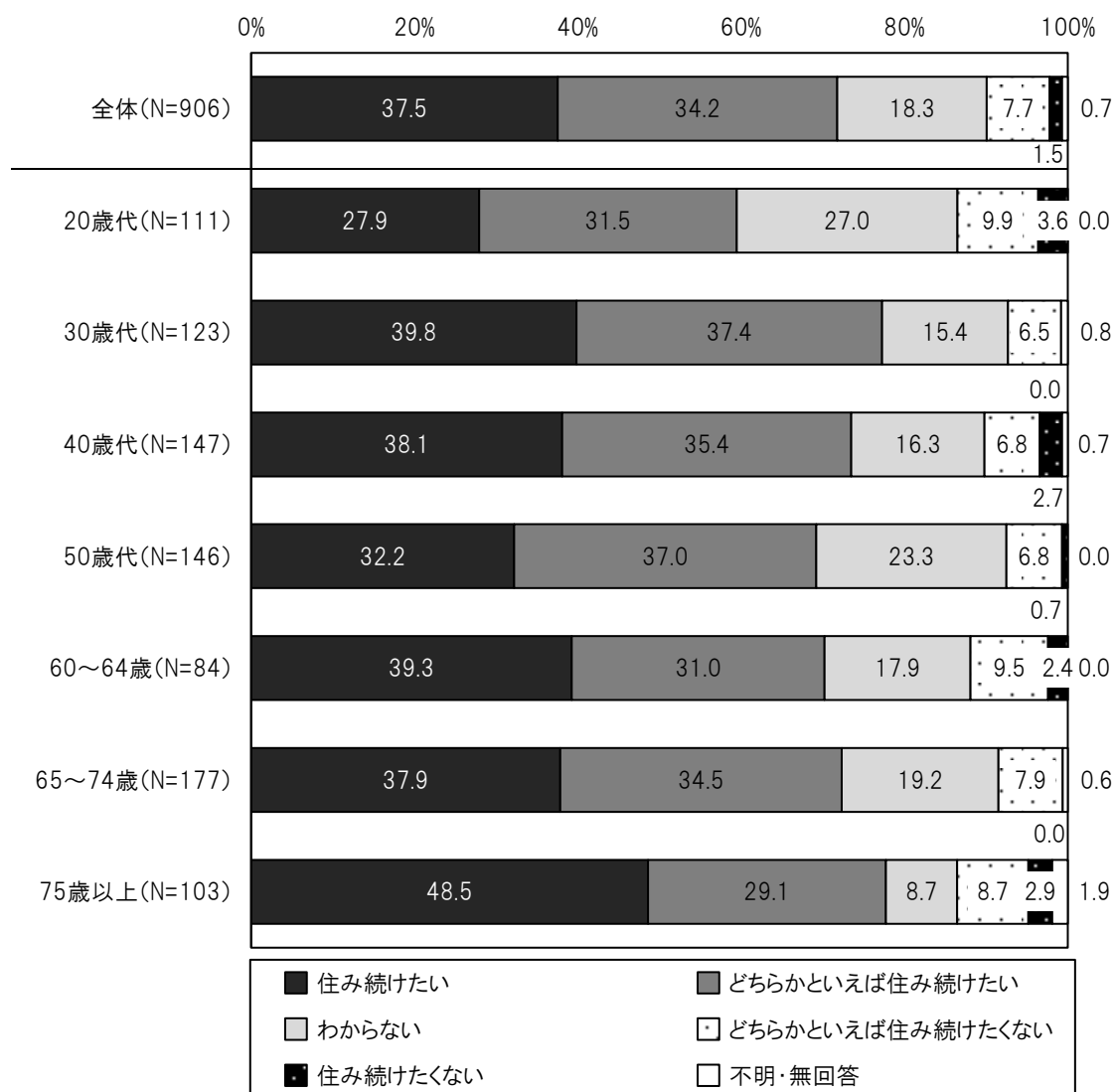
年齢別にみると、20 歳代、40 歳代では『住みやすい』がその他の年齢と比べて高くなっています。



Q9 あなたは、今後も橋本市に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)

今後も橋本市に住み続けたいかについては、『住み続けたい（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合算）』が 71.7%と、『住み続けたくない（「どちらかといえば住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合算）』の 9.2%を上回っています。

年齢別にみると、20 歳代では『住み続けたい』がその他の年齢と比べて低くなっています。



Q10 は、Q 9 で「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を回答した方のみ

Q10 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

住み続けたいと思う理由については、「家や土地を持っているから」が 59.8%と最も高く、次いで「住み慣れていて愛着があるから」が 58.6%、「水や緑などの自然環境がよいから」が 51.4%となっています。

年齢別にみると、30 歳代では「仕事、家族の都合」が、30～40 歳代では「子どもの生活・教育環境がよいから」が、75 歳以上では「災害の危険性が低いから」が、その他の年齢と比べて高くなっています。

単位：％

	全体 (N=650)	
水や緑などの自然環境がよいから	51.4	
住環境がよいから	28.0	
子どもの生活・教育環境がよいから	13.1	
安定した仕事・収入を得る場があるから	6.8	
住み慣れていて愛着があるから	58.6	
近所づきあいなど人間関係がよいから	23.2	
仕事、家族の都合	22.0	
保健・医療・福祉サービスが充実しているから	9.7	
買い物や日常生活が便利だから	21.2	
家や土地を持っているから	59.8	
親・兄弟姉妹などがいるから (同居・近居しているから)	25.4	
災害の危険性が低いから	28.8	
物価が安いから	5.4	
米・野菜などのおいしい食べ物が豊富にあるから	19.1	
その他	1.1	
不明・無回答	0.3	

【資料 7】

Q11 は、Q 9 で「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」を回答した方のみ

Q11 あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

住み続けたくないと思う理由については、「買い物や日常生活が不便だから」が 56.0%と最も高く、次いで「通勤・通学など、交通が不便だから」が 50.0%、「飲食店や娯楽施設が少ないから」が 44.0%となっています。

年齢別にみると、30 歳代、50 歳代では「住環境がよくないから」が、50 歳代では「親・兄弟姉妹などが近くにいないから」が、60 歳以上では「物価が高いから」が、その他の年齢と比べて高くなっています。

単位：％

	全体 (N=84)	
水や緑などの自然環境がよくないから	3.6	
住環境がよくないから	11.9	
子どもの生活・教育環境がよくないから	13.1	
通勤・通学など、交通が不便だから	50.0	
希望する仕事・収入を得る場がないから	33.3	
愛着がないから	13.1	
近所づきあいなど人間関係がよくないから	17.9	
仕事、家族の都合	9.5	
保健・医療・福祉サービスが充実していないから	20.2	
買い物や日常生活が不便だから	56.0	
親・兄弟姉妹などが近くにいないから	4.8	
災害の危険性が高いから	6.0	
物価が高いから	9.5	
飲食店や娯楽施設が少ないから	44.0	
その他	4.8	
不明・無回答	14.3	

Q12 あなたは、橋本市が行っている政策についてどの程度満足されていますか。また、どの程度重要だと思われますか。

（各項目において、満足度と重要度にそれぞれ1つずつ○）

問 12 については、政策 1 -①～ 9 -⑥各項目の①満足度、②重要度ともに 5 つの選択肢が与えられています
が、これを一元的に把握するために「加重点」を求めました。

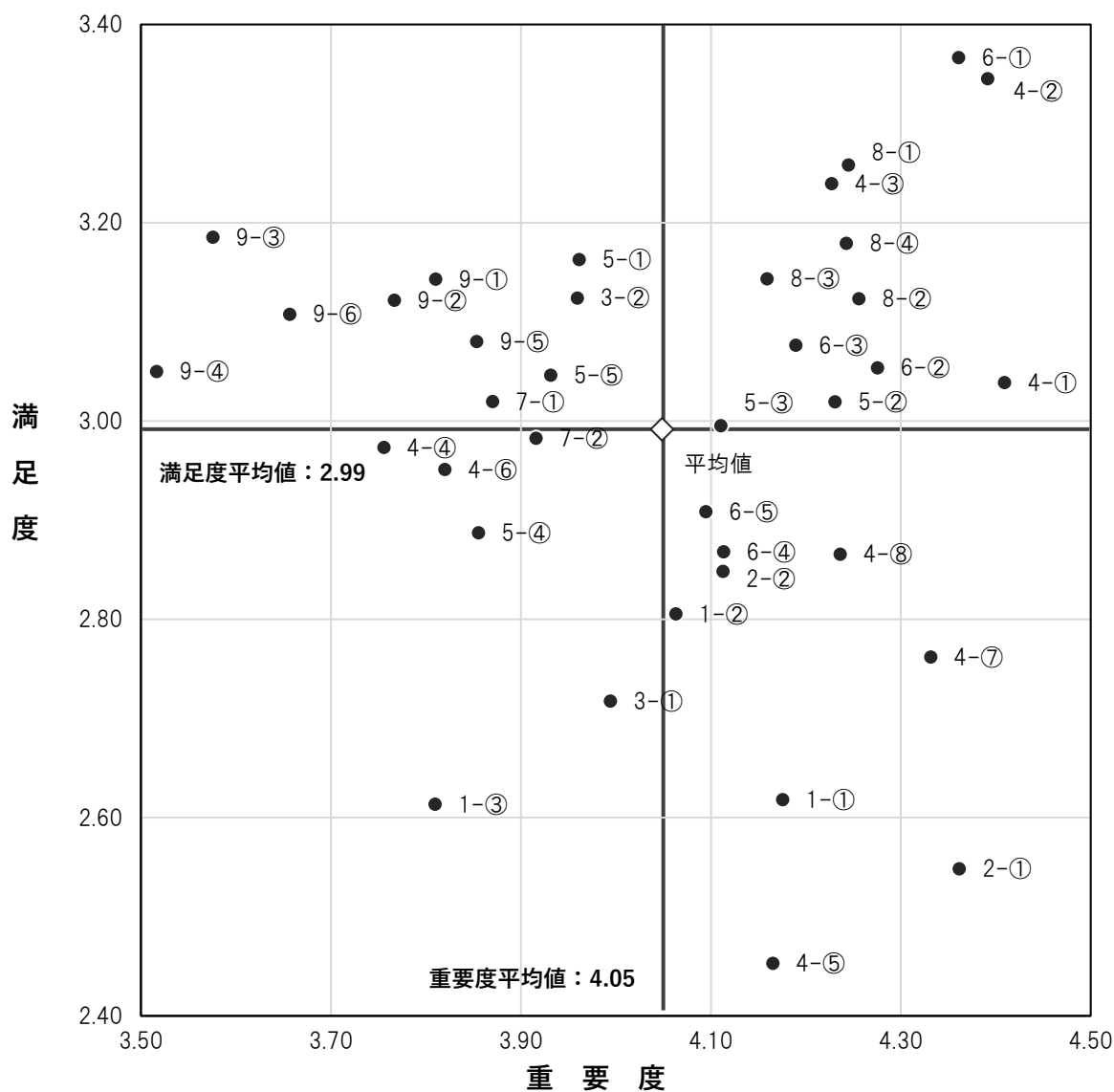
すなわち、満足度についての選択肢である「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「あまり満足ではない」「満足でない」の各 1 件につき、それぞれ 5 点、4 点、3 点、2 点、1 点を与えて積を求め、これらを合計した加重点を算出しました。

重要度についても「重要」「やや重要」「どちらともいえない」「あまり重要ではない」「重要でない」の各 1 件につき、それぞれ 5 点、4 点、3 点、2 点、1 点を与えて積を求め、これらを合計した加重点を算出しました。

回答者全体では、満足度は「6 -①（健康づくり支援と医療体制）」が 3.37 ポイントと最も高く、次いで「4 -②（消防・救急）」が 3.35 ポイント、「8 -①（妊娠・出産・育児環境）」が 3.26 ポイントとなっています。

重要度は「4 -①（危機管理・災害対策事業）」が 4.41 ポイントと最も高く、次いで「4 -②（消防・救急）」が 4.39 ポイント、「2 -①（雇用、就労、労働環境の整備）」「6 -①（健康づくり支援と医療体制）」が 4.36 ポイントとなっています。

【散布図 全体】



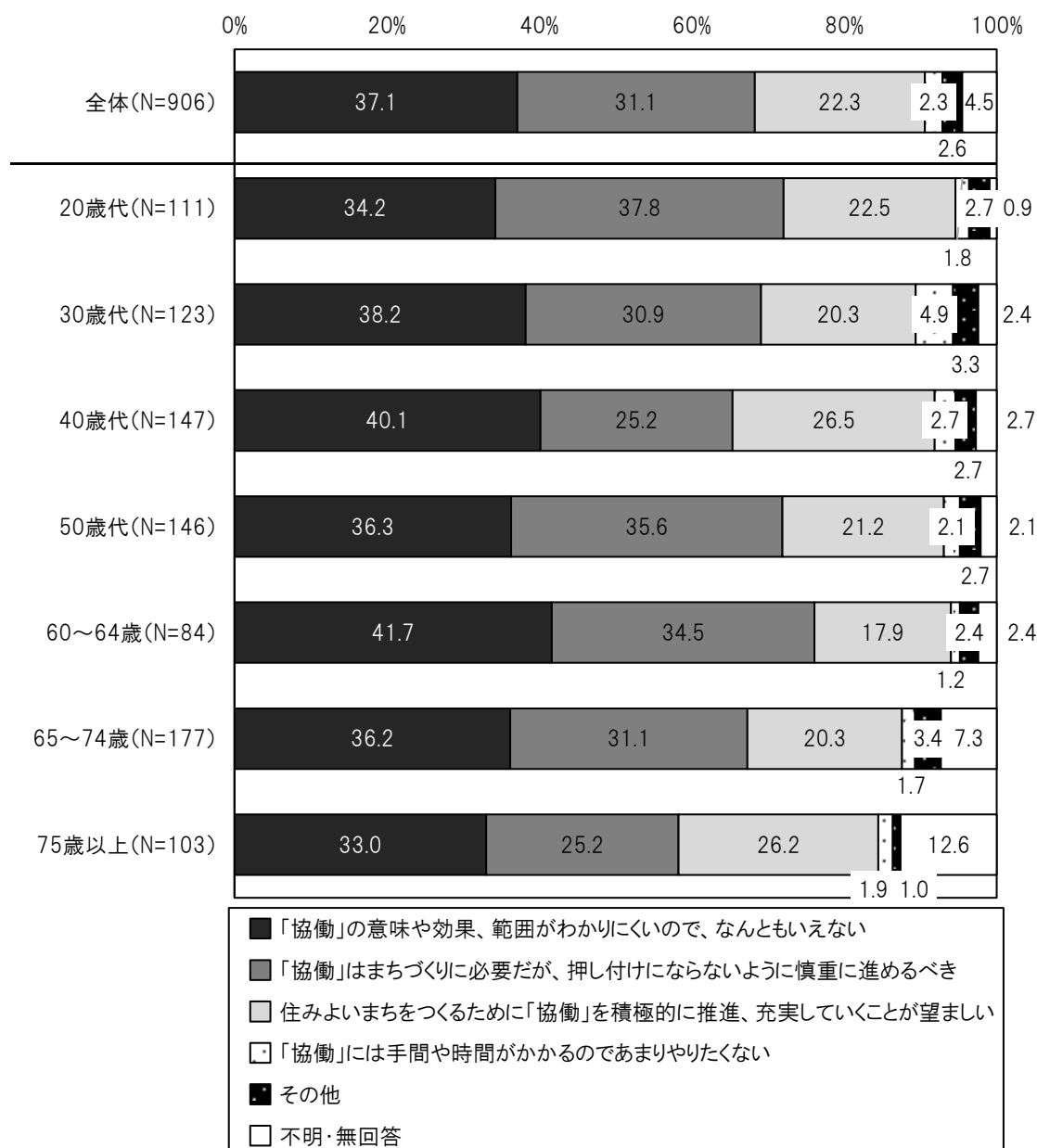
政策-施策	満足度	重要度
1-① 商工業・地場産業	2.62	4.18
1-② 農林業の振興	2.81	4.06
1-③ 観光事業	2.61	3.81
2-① 雇用、就労、労働環境の整備	2.55	4.36
2-② 企業誘致の促進	2.85	4.11
3-① 移住定住の促進	2.72	3.99
3-② 市民に身近でわかりやすい広報	3.12	3.96
4-① 危機管理・災害対策事業	3.04	4.41
4-② 消防・救急	3.35	4.39
4-③ 交通安全・防犯	3.24	4.23
4-④ 消費者普及啓発、トラブル相談体制	2.97	3.76
4-⑤ 地域公共交通	2.45	4.17
4-⑥ 計画的な土地利用、景観の保全	2.95	3.82
4-⑦ 道路の計画的な点検・修繕	2.76	4.33
4-⑧ 上下水道の整備	2.87	4.24
5-① 自然環境保護の取組	3.16	3.96
5-② ごみの減量・リサイクルの取組	3.02	4.23
5-③ 生活環境汚染対策の推進	3.00	4.11
5-④ 住環境（耐震化促進、空家対策）	2.89	3.86
5-⑤ 公園・緑地の維持管理	3.05	3.93

政策-施策	満足度	重要度
6-① 健康づくり支援と医療体制	3.37	4.36
6-② 社会保障制度の適正な運用	3.05	4.28
6-③ 地域における支え合いの仕組み	3.08	4.19
6-④ 高齢者にとっての暮らしやすさ	2.87	4.11
6-⑤ 障がい者にとっての暮らしやすさ	2.91	4.09
7-① 人権尊重と平和学習の推進	3.02	3.87
7-② 男女共同参画の推進	2.98	3.92
8-① 妊娠・出産・育児環境	3.26	4.24
8-② 子ども家庭支援	3.12	4.26
8-③ 地域・家庭・学校・行政の連携	3.14	4.16
8-④ 安全・安心な学校教育環境	3.18	4.24
9-① 生涯学習の推進	3.14	3.81
9-② スポーツ施設、活動の振興	3.12	3.77
9-③ 歴史文化遺産の保全と活用	3.19	3.58
9-④ 文化芸術活動、国際交流の推進	3.05	3.52
9-⑤ 青少年健全育成	3.08	3.85
9-⑥ 地域コミュニティ・協働のまちづくり推進	3.11	3.66

Q18 あなたは、協働のまちづくりについてどう思いますか。(ひとつだけ○)

協働のまちづくりについては、『協働』の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」が 37.1%と最も高く、次いで『協働』はまちづくりに必要だが、押し付けにならないように慎重に進めるべき」が 31.1%、「住みよいまちをつくるために『協働』を積極的に推進、充実していくことが望ましい」が 22.3%となっています。

年齢別にみると、40 歳代、75 歳以上では「住みよいまちをつくるために『協働』を積極的に推進、充実していくことが望ましい」が、その他の年齢と比べて高くなっています。



Q19 協働で特に取り組むべき分野はどれだと思いますか。

(特にあてはまるものを3つまで○)

協働で特に取り組むべき分野については、「健康・福祉」が 54.7%と最も高く、次いで「子育て・青少年育成」が 41.4%、「地域安全・防犯」が 38.6%となっています。

年齢別にみると、30～40 歳代では「子育て・青少年育成」が、それ以外の年齢層では「健康・福祉」が、その他の年齢と比べて高くなっています。

単位：％

	全体 (N=906)	
健康・福祉	54.7	
子育て・青少年育成	41.4	
文化・スポーツ・芸術	9.9	
環境保全	20.3	
地域づくり	30.7	
地域安全・防犯	38.6	
社会教育	5.6	
災害救助	24.7	
男女共同参画	3.5	
国際交流	1.4	
観光	5.5	
経営・雇用	12.0	
その他	2.4	
不明・無回答	5.7	

最後に、橋本市のまちづくりについて、あなたのお考えを自由にご記入ください。

自由記述についてみると、「地域公共交通」が 29 件と最も多く、次いで「商工業・地場産業」が 25 件、「高齢者にとっての暮らしやすさ」が 24 件となっています。

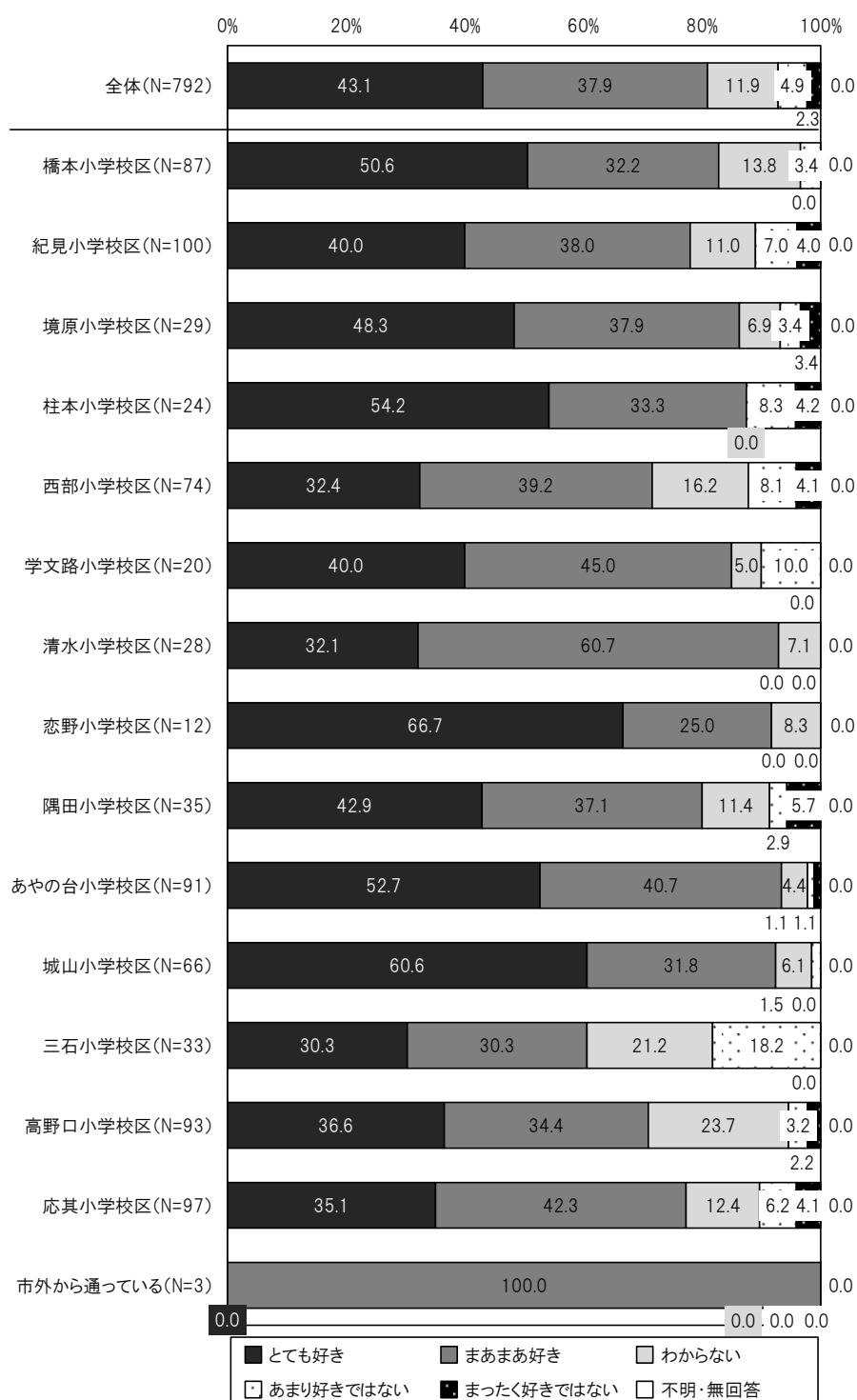
分野	小分類	件数	
賑わいと活力を創出する 地域産業づくり	商工業・地場産業	25	50
	農林業の振興	8	
	観光事業	17	
雇用の創出と就労環境づくり	雇用、就労、労働環境の整備	12	23
	企業誘致の促進	11	
充実した情報整備と 魅力的なまちづくり	移住定住の促進	19	31
	市民に身近でわかりやすい広報	12	
安全・安心な暮らしと、 生活の利便性を支える 都市基盤づくり	危機管理・災害対策事業	9	73
	消防・救急	0	
	交通安全・防犯	7	
	消費者普及啓発、トラブル相談体制	1	
	地域公共交通	29	
	計画的な土地利用、景観の保全	5	
	道路の計画的な点検・修繕	11	
	上下水道の整備	11	
豊かな自然と暮らしが 調和する生活環境づくり	自然環境保護の取組	10	46
	ごみの減量・リサイクルの取組	13	
	生活環境汚染対策の推進	4	
	住環境（耐震化促進、空家対策）	8	
	公園・緑地の維持管理	11	
住み慣れた地域で安心して 暮らせる持続可能な仕組み づくり	健康づくり支援と医療体制	8	44
	社会保障制度の適正な運用	3	
	地域における支え合いの仕組み	5	
	高齢者にとっての暮らしやすさ	24	
	障がい者にとっての暮らしやすさ	4	
一人ひとりの個性が尊重され 思いやりのあるまちづくり	人権尊重と平和学習の推進	1	3
	男女共同参画の推進	2	
妊娠・出産、子育てから 教育まで切れ目のない支援と それを支える地域づくり	妊娠・出産・育児環境	9	24
	子ども家庭支援	7	
	地域・家庭・学校・行政の連携	0	
	安全・安心な学校教育環境	8	
生涯にわたる生きがいづくりと 心の豊かさを高めるまちづくり	生涯学習の推進	9	35
	スポーツ施設、活動の振興	5	
	歴史文化遺産の保全と活用	2	
	文化芸術活動、国際交流の推進	1	
	青少年健全育成	1	
	地域コミュニティ・協働のまちづくり推進	17	
その他			52

3. 小中学生対象調査結果（一部抜粋）

問5 あなたは、橋本市や自分の住んでいるまちが好きですか。（ひとつだけ○）

橋本市や自分の住んでいるまちが好きかについては、『好き（「とても好き」と「まあまあ好き」の合算）』が 81.0%と、『好きではない（「あまり好きではない」と「まったく好きではない」の合算）』の 7.2%を上回っています。

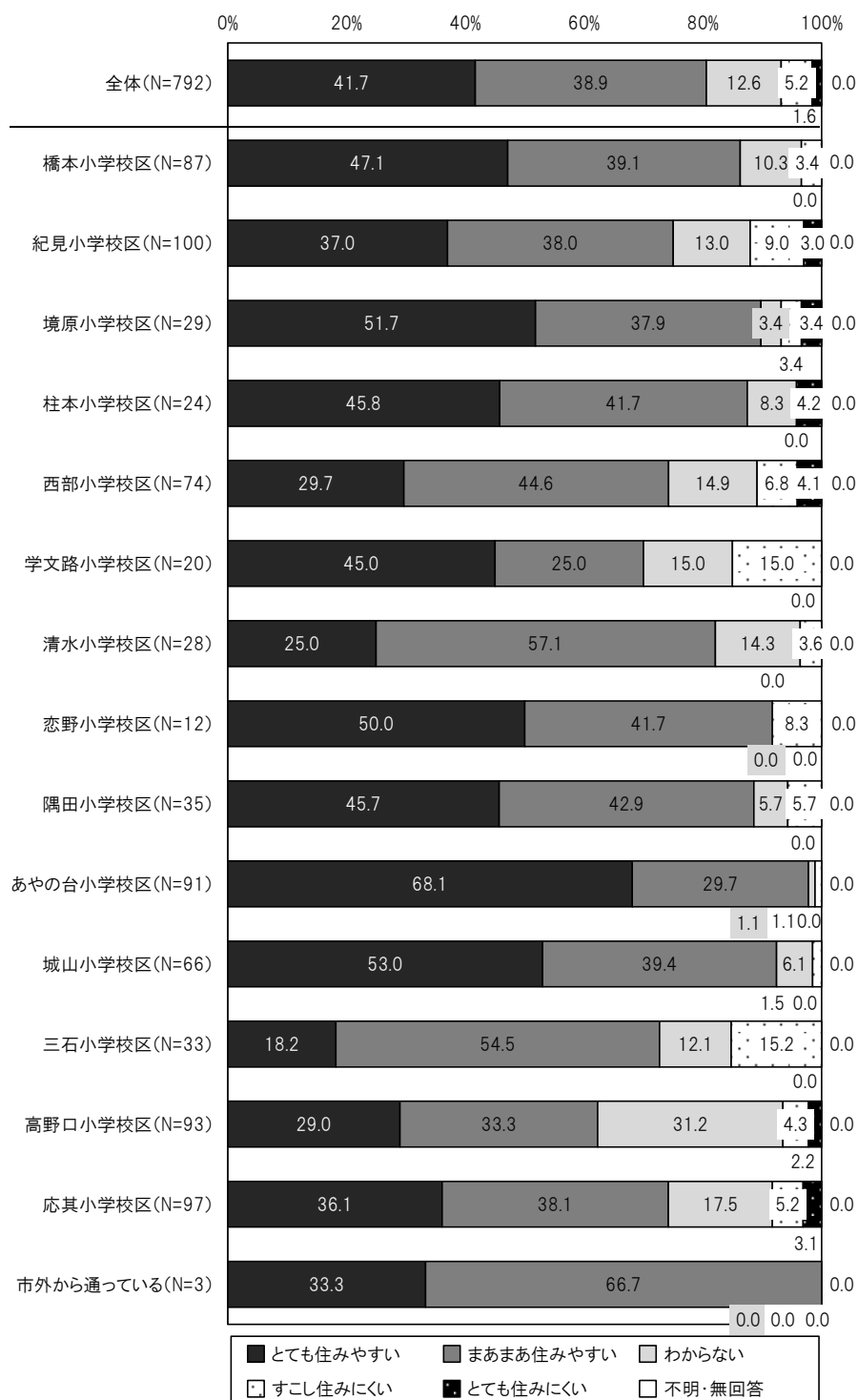
地区別にみると、三石小学校区では『好きではない』が、その他の地区と比べて高くなっています。



問6 あなたにとって、橋本市や自分の住んでいるまちの住みごころはいかがですか。 (ひとつだけ○)

橋本市や自分の住んでいるまちの住みごころについては、『住みやすい（「とても住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合算）』が 80.6%と、『住みにくい（「すこし住みにくい」と「とても住みにくい」の合算）』の 6.8%を上回っています。

地区別にみると、学文路小学校区、三石小学校区では『住みにくい』が、その他の地区と比べて高くなっています。

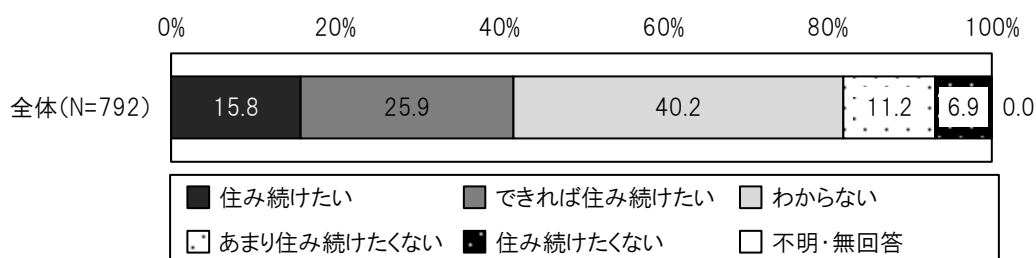


【資料 7】

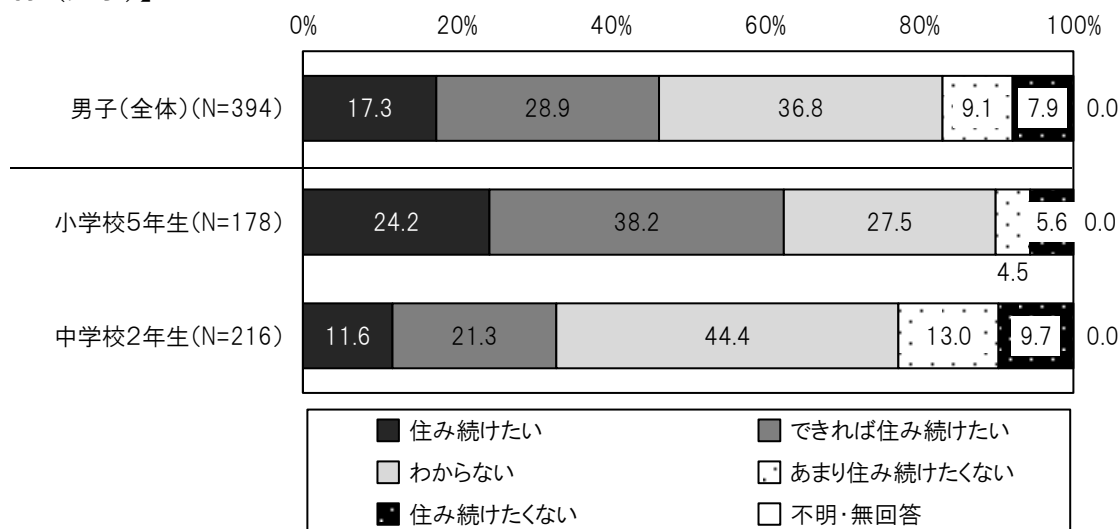
問 7 あなたは、将来大人になっても橋本市に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)

将来大人になっても橋本市に住み続けたいと思うかについては、『住み続けたい（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合算）』が 41.7%と、『住み続けたくない（「あまり住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合算）』の 18.1%を上回っています。

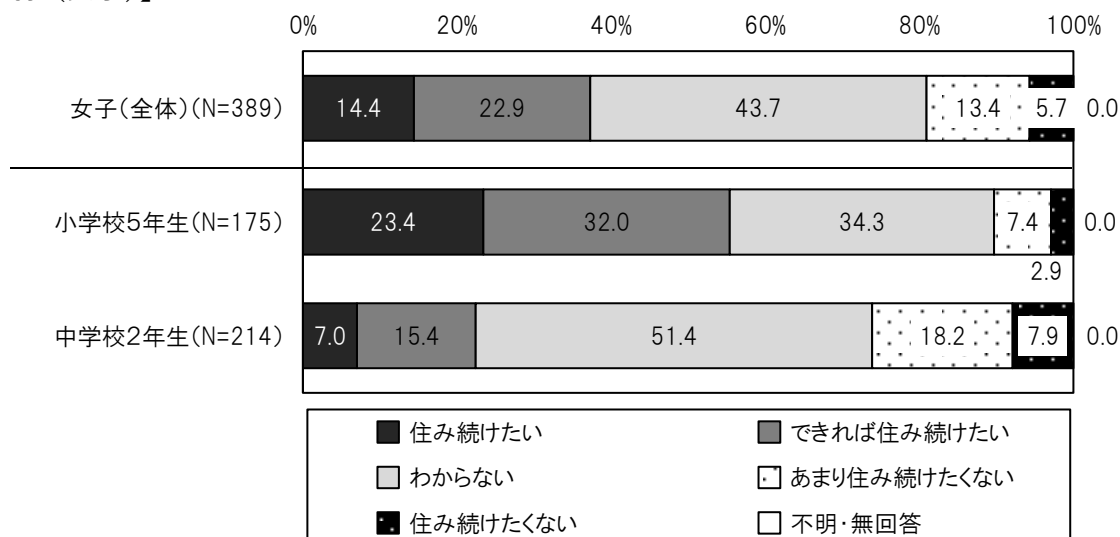
性別で学年別にみると、男子、女子いずれも小学校 5 年生では中学校 2 年生より『住み続けたい』が高くなっています。



【学年別（男子）】



【学年別（女子）】



※問 8 は、問 7 で「住み続けたい」「できれば住み続けたい」を回答した方のみ

問 8 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

住み続けたいと思う理由については、「家族や友達がいるから」が 74.2%と最も高く、次いで「生まれ育ったところだから」が 67.3%、「自然が豊かだから」が 55.8%となっています。

単位：％

	全体 (N=330)	
生まれ育ったところだから	67.3	
家族や友達がいるから	74.2	
自然が豊かだから	55.8	
交通(バスや電車)が便利だから	6.1	
買い物などふだんの生活に便利だから	22.4	
まちが安全・安心だから	37.6	
地震や台風などの心配が少ないから	22.7	
その他	1.8	
不明・無回答	0.0	

※問 9 は、問 7 で「あまり住み続けたくない」「住み続けたくない」を回答した方のみ

問 9 あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

住み続けたくないと思う理由については、「都会で生活したいから」が 57.6%と最も高く、次いで「大学や働ける場所があまりないから」が 41.0%、「交通(バスや電車)が不便だから」「買い物などふだんの生活に不便だから」が 33.3%となっています。

単位：％

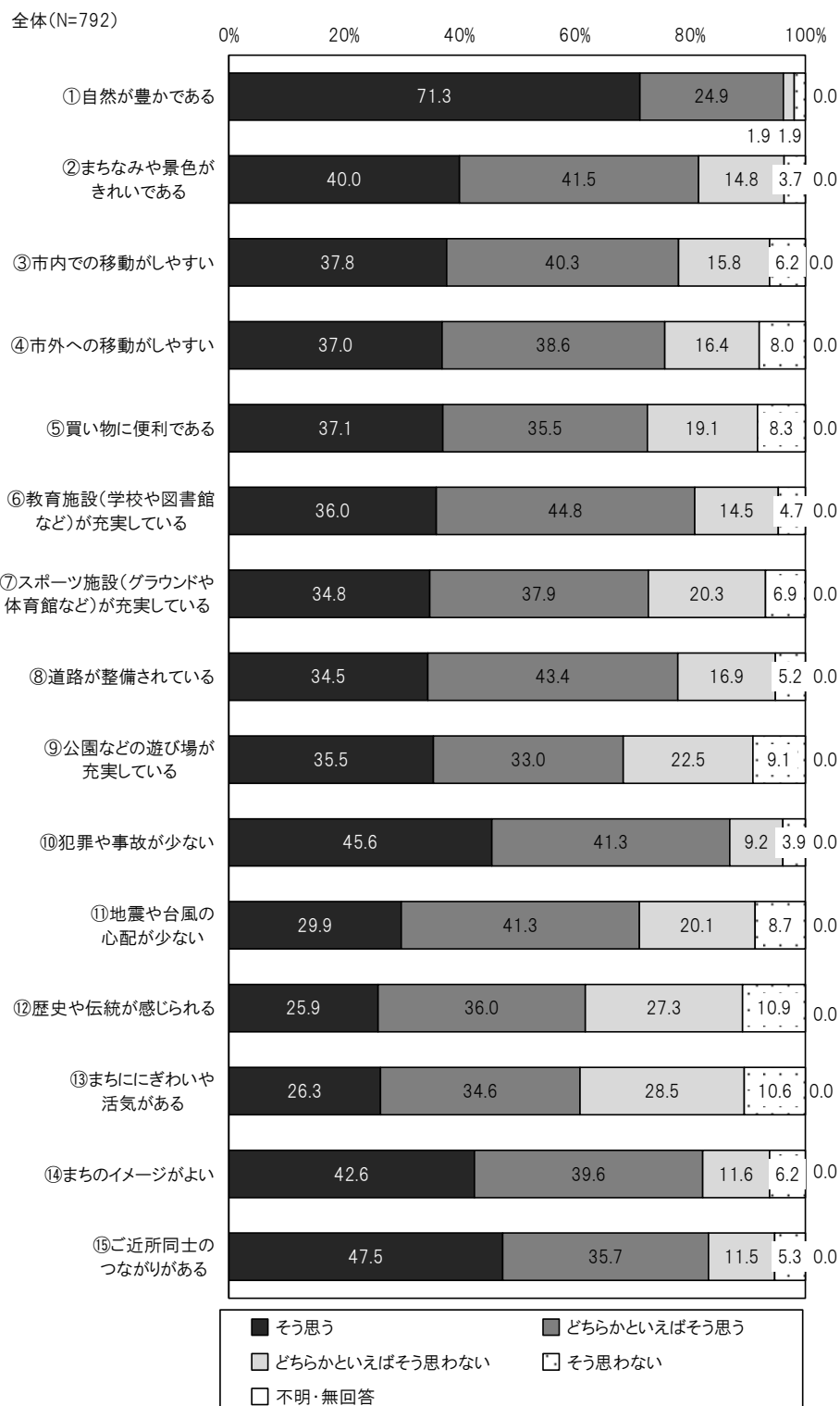
	全体 (N=144)	
まちがあまり好きでないから	22.2	
知り合いがあまりいないから	6.9	
自然が豊かではないから	2.8	
交通(バスや電車)が不便だから	33.3	
買い物などふだんの生活に不便だから	33.3	
まちが安全・安心でないから	5.6	
地震や台風などが不安だから	6.3	
都会で生活したいから	57.6	
大学や働ける場所があまりないから	41.0	
その他	13.9	
不明・無回答	0.0	

問 10 橋本市について、あなたがふだんの暮らしで感じていることを教えてください。

(①～⑮まで、それぞれの橋本市のイメージについて、1～4のいずれかひとつに○)

橋本市について、ふだんの暮らしで感じていることについて、『思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算）』をみると、「①自然が豊かである」が96.2%、「⑩犯罪や事故が少ない」が86.9%、「⑮ご近所同士のつながりがある」が83.2%となっています。

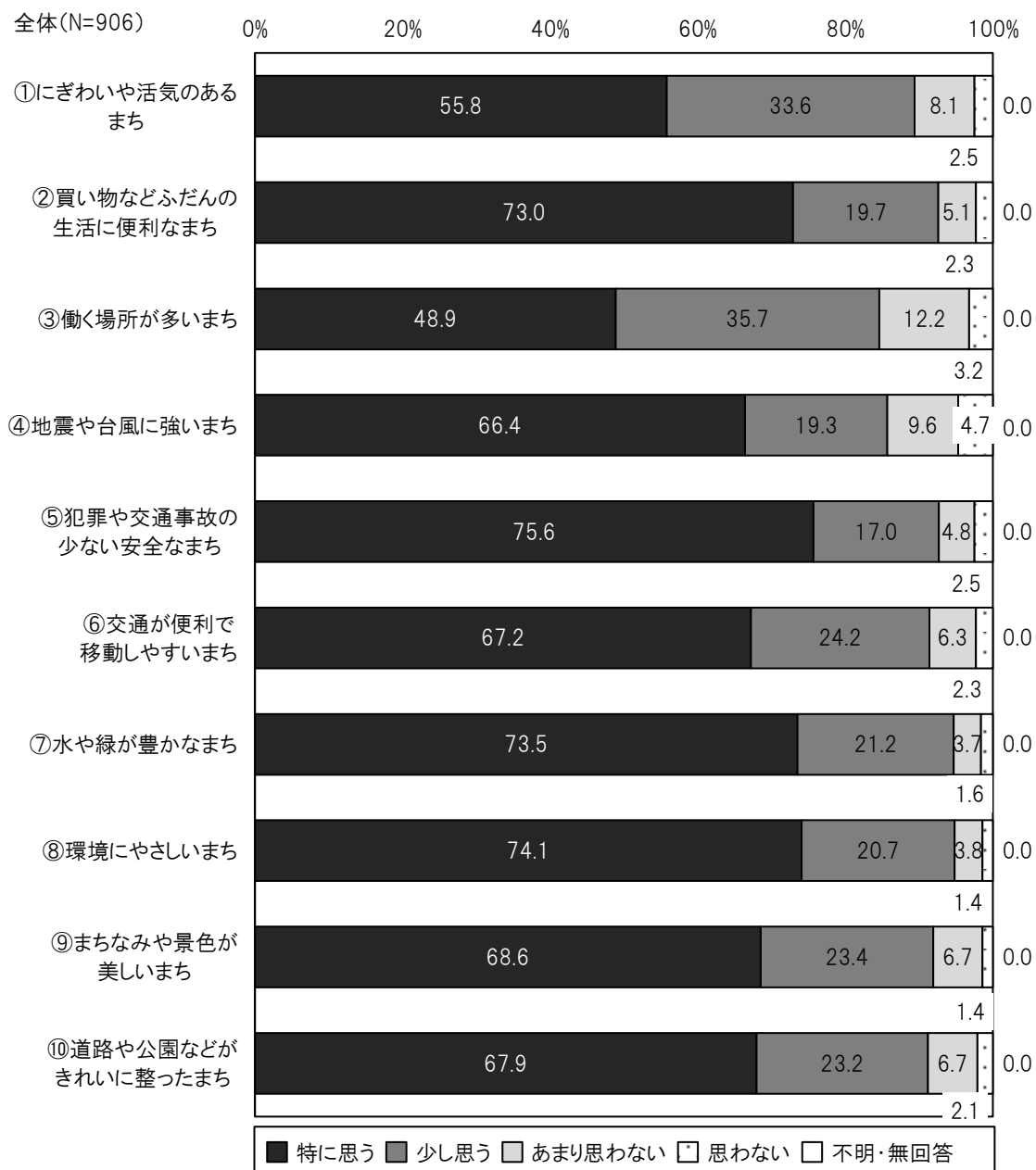
『思わない（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算）』をみると、「⑬まちににぎわいや活気がある」が39.1%と最も高く、次いで「⑫歴史や伝統が感じられる」が38.2%、「⑨公園などの遊び場が充実している」が31.6%となっています。



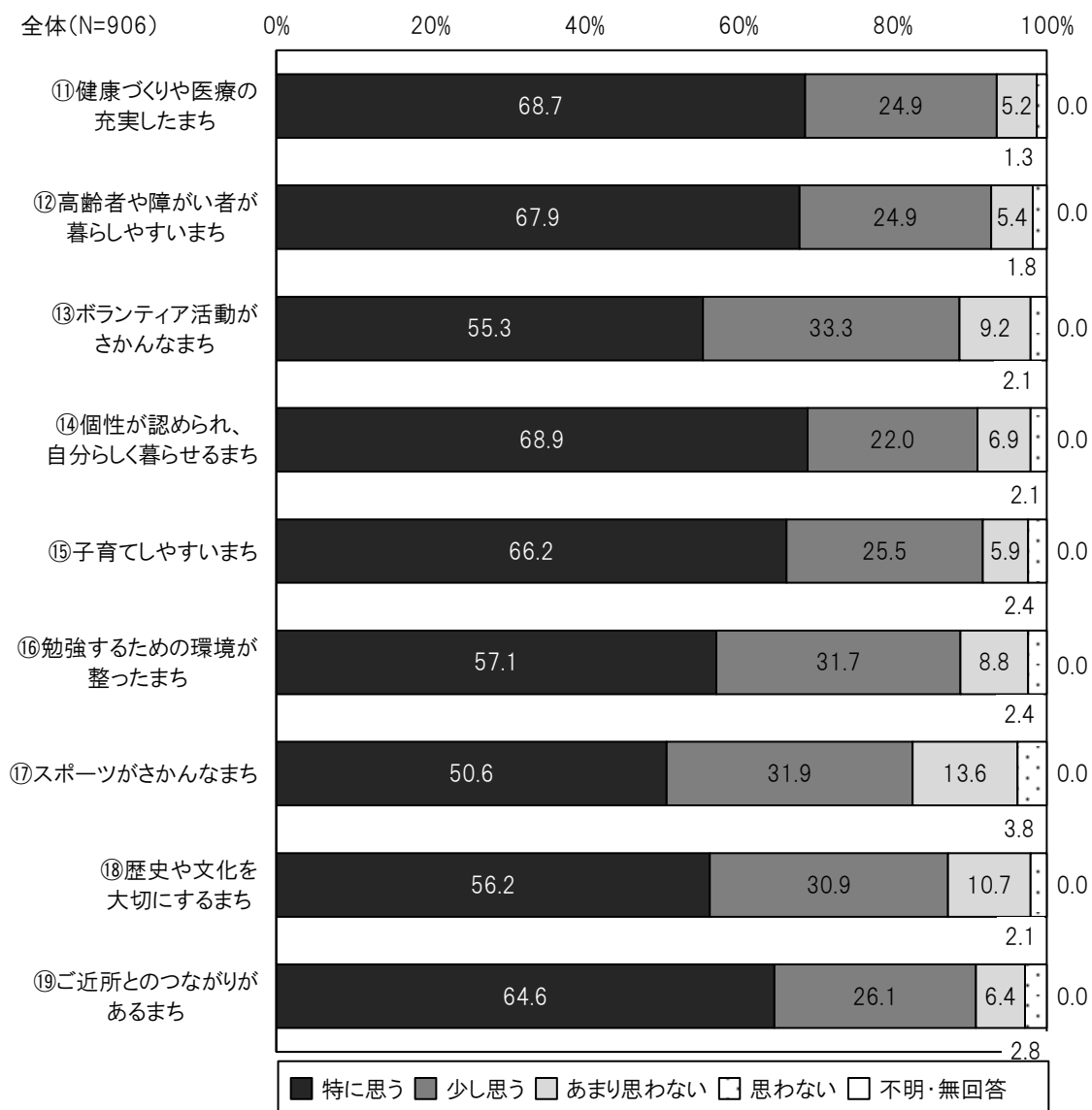
問 11 あなたは、これからの橋本市がどのような「まち」であってほしいと思いますか。
(①～⑩まで、それぞれのまちの姿について、1～4のいずれかひとつに○)

これからの橋本市がどのような「まち」であってほしいと思うかについて、『思う（「特に思う」と「少し思う」の合算）』をみると、いずれの項目も9割程度となっています。

『思わない（「あまり思わない」と「思わない」の合算）』をみると、「⑩スポーツがさかんなまち」が17.4%、「③働く場所が多いまち」が15.4%、「④地震や台風に強いまち」が14.3%となっています。



【資料 7】



問 12 あなたがもし市長になったら、どんなことに取り組んでみたいですか。アイデアや意見がありましたら、自由にお書きください。

自由記述についてみると、「②買い物などふだんの生活に便利なまち」が 119 件と最も多く、次いで「①にぎわいや活気のあるまち」が 88 件、「⑧環境にやさしいまち」が 72 件となっています。

分野	小分類	件数
①にぎわいや活気のあるまち		84
②買い物などふだんの生活に便利なまち		123
③働く場所が多いまち		12
④地震や台風に強いまち		12
⑤犯罪や交通事故の少ない安全なまち		46
⑥交通が便利で移動しやすいまち		16
⑦水や緑が豊かなまち		49
⑧環境にやさしいまち		71
⑨まちなみや景色が美しいまち		12
⑩道路や公園などがきれいに整ったまち		56
⑪健康づくりや医療の充実したまち		2
⑫高齢者や障がい者が暮らしやすいまち		29
⑬ボランティア活動がさかんなまち		25
⑭個性が認められ、自分らしく暮らせるまち		11
⑮子育てしやすいまち		19
⑯勉強するための環境が整ったまち		26
⑰スポーツがさかんなまち		14
⑱歴史や文化を大切にするまち		2
⑲ご近所とのつながりがあるまち		26
その他	暮らしやすい、元気なまち	61
	様々な人の意見を取り入れる	16
	給付金、生活支援	12
	人口増	3
	SDG s	5
	特産品、市外への PR	8
	理想の市長像	8
		133